

一般質問

11月30日から12月2日までの本会議で、23人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

子育て家庭と高齢者を地域と行政で支えるために



民主党 長島 薫 議員

議員 乳児家庭全戸訪問事業は、専門家（助産師、保健師など）による訪問の方が、「より安心でき、適切な助言を得られるのでは」との市民の声がある。助産師や保健師が行う新生児訪問事業との連携も重要だ。

市長 事業の連携、それぞれの充実が重要と考える。

議員 本事業から、近所付き合いのきっかけに有効な子育て世帯引き合わせ施策への発展は考えているか。

市長 親子ひろば事業や子ども家庭支援センターなどを紹介することも訪問事業の重要な役割だと考える。

議員 本事業を担う民生・児童委員の負担増による影響を懸念する。見解を伺う。

市長 地域貢献を志す民生・児童委員の活躍を期待してほしい。円滑な活動への

条件整備はもうろん行う。

議員 特別養護老人ホームなどの介護保険施設は、確実に需要が高まっていく。施設整備等の方針を伺う。

市長 介護給付費と保険料の負担のバランスを考慮しつつ、誘致に努めたい。

議員 地域包括支援センターや地域ケア等の高齢者施策について連携等の体制はどうあるべきと考えるか。

健康福祉部調整担当部長 定期的に地域連絡会を開催するなど、引き続きネットワークの構築に努めたい。

議員 高齢者が夜間・休日に安心して相談できる体制づくりには、広報強化と職員負担への配慮が必要だ。

健康福祉部調整担当部長 広報等で窓口の一層の周知を図るとともに、職員の負担抑制の方策を考えたい。

ALTEによる英語教育にリスク管理と雇用対策を



民主党 石原 恒 議員

議員 小中学校の外国語指導助手（ALTE）による英語教育は、業務委託先が現在1社のみだ。仮に委託先

ではないか。リスクマネジメントの考え方を伺う。

教育長 本市のカリキュラムを熟知し、他市区での実績があり、配置校からの評価も高い業者と契約しているが、今後は指摘の点も視野に入れて取り組みたい。

議員 市内には国際基督教大学もあるためバイリンガルの日本人が多くいると考える。近年の失業率が40.5.4%で推移する中、日本人の雇用創出のため、次回委託先を決める際に一定数以上の日本人講師の派遣を条件に盛り込んではどうか。

教育部長 英語指導は、外国人と児童・生徒が関わることにより異国と日本の文

化の違いを認識するという意味もある。指摘の点も含めて今後検討したい。

議員 ALTEの授業を見学し、非常にいい雰囲気だと感じた。積極的に手を挙げられない児童・生徒が、コンプレックスを持たないよう留意し、授業を進めてほしい。児童・生徒や保護者、学校の先生からの授業の進め方などについての要望・相談をALTEに的確に伝える仕組みはあるのか。

教育部長 委託業者の日本人コーディネーターを通じて要望等を伝えていく。

＜その他の質問＞市民の生活に係る放置自転車問題と今冬の節電対策について

市民の生命と安心を守る体制づくりを



民主党 岩見 大二 議員

議員 自転車交通総合対策について、市民への周知が徹底されていないのが現状だ。市民への的確な情報提供について所見を伺う。

市長 良好な自転車交通秩序の実現に向け、警察と更に連携しながら正確な情報の提供に努めていく。

議員 自転車交通総合対策実施の背景には、無灯火運転などの交通ルール違反がある。自転車マナーの啓発、違反者対策について伺う。

市長 今後も警察や交通安全協会と連携しながら、取り組みの広報や自転車安全講習会等を継続し、ルールとマナーの徹底に努める。

議員 市内の自転車レーン整備について所見を伺う。

市長 国のガイドラインを

踏まえ、慎重に進めたい。

議員 来年度から国の要介護者24時間対応の定期巡回・随時対応サービスが始まる。市においても、新制度開始前にサービスの骨格づくりと事業者参入の障壁を取り払う施策を検討せよ。

健康福祉部長 第五期介護保険事業計画の中で、整備を進めていく予定である。

議員 都内では毎年2千500人以上の自殺者が出ており、深刻な状況が続いている。自治体ごとのきめ細かい対応が必要だ。

市長 関連する部門との連携を強化し、自殺を予防する体制づくりを進めたい。

議員 自殺予防の人材、いわゆるゲートキーパーの育成について所見を伺う。

住宅リフォーム助成で地域経済の活性化を望む



日本共産党 栗原 健治 議員

議員 市内の中小商業は長引く厳しい不況を必死に耐え忍び地域経済を支えている。地域経済の活性化には、地域で頑張っている事業者の支援が重要だ。市内建設事業者の現状を伺う。

市長 大変厳しい経営状況と認識する。事業者数は数年横ばい状況だが、経営形態等の変化などを更に調査する必要があると考える。

議員 市内事業者の仕事がない状況は実に深刻と考える。事業者の減少に歯止めをかけ存続させるために、内需を活性化して仕事を増やす施策が何より必要だ。

市長 事業者の技術力や質の向上はもちろん、市民が市内事業者を利用して縁を組むつもりはない。

深め、経済が地域で循環する風土づくりに今後も積極的に取り組んでいきたい。

議員 住宅リフォーム助成制度は、地域経済の活性化、振興策と福祉、防災、エコの住環境改善・促進の両者を結び付ける施策として効果的であり、実施を検討する価値がある。制度の経済効果について認識を伺う。

市長 住宅バリアフリー改修助成の利用者が少なかった経緯からも、経済循環の効果は認識できなかった。

議員 経済政策として住宅リフォーム助成制度の実施をぜひ検討してほしい。

市長 提案の趣旨のような助成制度は、現時点で取り組むつもりはない。

地域ケアネットワーク 町会の役割と課題を問う



日本共産党 森 徹 議員

議員 少子高齢化が進む中、新たな支え合いとして共助の仕組みづくりが提起されている。地域ケアネットワーク・井の頭の成果と課題を問う。

市長 ふれあいサロン・井の頭等の取り組みが好評である。相対的に高齢者への支援が多く、子育て支援や障がい者支援への広がりが出ていくことが課題だ。

議員 約4万人と人口の多

い連雀住区での、新たなネットワークづくりと運営について所見を伺う。

市長 多くの団体の幅広い参加や持続可能な活動として進めていくことが重要だ。参加団体と協働しながら一緒に考えていきたい。

議員 地域ケアネットワークについて、「役員の負担が心配」「町会との関係が分からない」等の声を聞く。①町会との関係につい



地域ケアネットワーク・井の頭主催の「歌声喫茶」

少人数学級の推進で子どもの学び合いを大切に



日本共産党 大城 美幸 議員

議員 会派で視察に行った秋田県横手市では、早くから少人数学級・授業を推進し、子どもの学習意欲を高め、学力向上を図っている。本市における少人数学級の導入の成果について伺う。

教育長 担任が個々の児童の状況を的確に把握でき、落ち着いた学習環境で個別指導が充実できている。

議員 横手市では、習熟度別授業を固定的に長期間続けると子どもやる気を阻害する」などの理由から、少人数授業による子どもの学び合いを重視している。本市も習熟度別授業は教科・単元を限定し短期間での実施にとどめるべきだ。

教育長 各学校の判断に委

ねるべき問題だと考える。

議員 横手市では学力向上の一環で言語能力を高めるため、特に読書に力を入れている。ある小学校では、児童一人が図書館から借りる本の年間目標を平均60冊としている。参考にせよ。

教育長 多くの学校で言語活動の充実に取り組んでおり、今後も学力向上への取り組みを更に進めたい。

議員 教員の多忙化の改善に向け、①実態をきちんと把握せよ②各学校に労働安全衛生委員会を設置し、市が責任を持って教員の健康管理・労働安全を確保せよ。

教育長 ①きめ細かい把握方法を検討したい②今後の対応の仕方を検討したい。

自転車交通事故について要因を分析し対策を講じよ



日本共産党 岩田 康男 議員

議員 自転車の利用者増加に伴い自転車に関わる交通